

大学都市KOBE !!

好奇心を創り出す
都市と大学



神戸学院大学

きみも科学者

神戸市 × 神戸学院大学『KOBE こども大学』

痛みが消えてスッとする?!

～サリチル酸メチルのヒミツを学ぼう～

講師:神戸学院大学 薬学部 分子薬学部門 講師 神谷 浩平



くすりをつくってヒミツを学ぼう!
これであなたもサイエンティスト!



2017年 **2月18日(土)** 13時00分～15時00分

会場: グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル
The Lab. 2Fアクティブスタジオ

対象: 小学生とその保護者 / 定員10組

【申込方法】

神戸学院大学 社会連携部まで メールにてお申込みください

E-Mail renkei_info@j.kobegakuin.ac.jp (裏面のQRコードもご利用ください)

※メールに必ず、お子様と保護者の氏名・ヨミガナ、お子様の年齢、電話番号をご記入ください

参加費: 無料

定員になり次第
受付を終了します

① 個人情報の取り扱いについて

本事業の申込にてご提供いただきました個人情報は本イベント受付・運営に関する業務のほか、神戸学院大学が実施する各種事業に関する情報提供に利用させていただきます。
なお、ご本人様の同意がある場合、または、法令に基づく正当な理由がある場合を除き、上記目的以外での利用及び第3者への開示・提供はいたしません。

『大学都市KOBЕ!発信』プロジェクト

～好奇心を創り出す都市と大学～

神戸市は、全国有数の“大学都市”です。地域の知の拠点である大学は専門性を基にした教育や研究活動に取り組むとともに、様々な分野において行政と連携し、市民の知的創造力の源として地域社会を支えています。

紀元前400年頃、ギリシャのヒポクラテスはヤナギ(柳)の樹皮を解熱や鎮痛を目的に用いたと言われています。発熱時や痛みが生じたときに、おそらく日本の漢方薬のように樹皮を煎じていたと思われます。また、日本でも柳で作った楊枝を使うと歯がうずかないという言い伝えがあることから、柳には鎮痛効果があったことが推測されます。1830年代には、この柳から有効成分が単離され、その1つにサリチル酸がありますが、鎮痛作用はあるけれど胃腸障害をもたらすため医薬品にはなりません。そのため、サリチル酸を原料として胃に優しい解熱鎮痛薬である「アスピリン」が1897年に開発され現在も広く用いられています。その他、サリチル酸を原料として消炎鎮痛剤である「サリチル酸メチル」も開発されています。本ワークショップでは、湿布薬に含まれるサリチル酸メチルを作って、スツとする感覚を体験していただきます。

神戸市 × 神戸学院大学 『KOBЕ こども大学』

13時00分～15時00分

きみも科学者「**痛みが消えてスツとする?!**」
～サリチル酸メチルのヒミツを学ぼう～

講師:神戸学院大学 薬学部 分子薬学部門 講師 神谷 浩平

<授業内容>

- ① 消炎鎮痛剤サリチル酸メチルをつくってみよう
- ② サリチル酸メチルのスツとする感覚を体験してみよう

神戸市×神戸学院大学『KOBЕこども大学』

きみも科学者「**痛みが消えてスツとする?!**」

お申込み方法

2017年2月15日(水)までに

E-mailにてお申込みください。

※E-mailには必ず、お子様と保護者の方の氏名・ヨミガナ、

お子さまの年齢・性別、電話番号(当日の連絡先)を記載してください。

<ご注意ください>

お申込みいただいた方には、メールにてご連絡をいたしますので、

お申込み前にメール(renkei_info@j.kobegakuin.ac.jp)が受信できるように受信設定の確認をお願いいたします。

お申込み先・お問い合わせ先

神戸学院大学社会連携部

TEL 078 - 974 - 1348

E-mail renkei_info@j.kobegakuin.ac.jp



ACCESS MAP